

第3学年 外国語活動学習指導案

日時 令和5年6月16日(金)
子ども 3年伊藤学級 23名
指導者 伊藤 汐里

I 単元名

Unit 4 I like blue.
すきなものをつたえよう
(Let's Try 1)

<授業の見どころ>

子どもたちが互いの困りや迷いをシェアし合いながら、自分の好きなものや好きでないものを伝えることを通して、友だちとのコミュニケーションを楽しみます。

II 単元の指導構想

1 単元について

- 子どもたちは、「外国語活動の時間を通して、友だちとの仲を深めたい」と、外国語活動の学びの目的地を描き、英語の表現を聞いたり、語彙や表現を使って友だちとかかわったりすることを楽しんでいる。しかし、中には、いつも同じ友だちとコミュニケーションを図ろうとする様子や目的意識が低く一方的に話をしている様子、自分の思いや考えを自信をもって話せない様子も見られる。

子どもたちはこれまで、国語や特別活動などで、「相手の目を見て話す」、「はっきりと伝わる声で話す」などの話し方の工夫を身に付けてきた。また、学年の合言葉「みんなで輪っか3年生～ていねいに さわやかに～」のもと、一人ひとりの気持ちを大事にして、誰とでも仲良く協力できる学年にしたいという思いをもっている。さらに、縦割り班活動では、他学年の友だちとよりよくかかわり、中学年としての役割を果たしていきたいと思っている。これらの学びの文脈を生かし、目的意識をもって互いの話を聞き合い、伝え合う活動を通して、誰とでも進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養っていく必要がある。

- 本単元は、色や食べ物、スポーツなどの身近なものを話題にして、自分の好きなものや好きでないものを伝え合う単元である。好きなものや好きでないものを伝え合う活動は、学級編制をしたばかりの子どもたちにとって、友だち関係を広げたり互いの仲を深めたりすることのできる話題であり、集団意識が高まる発達段階において、必然性があり、適切なコミュニケーション活動と言える。また、好きなものや好きではないものは、今後も人と出会う場面や日常会話において、話されることの多い話題でもある。

本単元の言語活動は、相手に自分のことを理解してもらうために、相手に伝わるように自分の好きなものや好きでないものを伝える活動である。自分のことを伝えられた喜びや友だちの伝えたいことがわかった喜びをコミュニケーションの楽しさにつなげ、相手に伝わりやすい伝え方の工夫を考えることでコミュニケーション能力の素地を養うことがねらいである。

- 指導に当たっては、次の2点に留意する。

1点目は、学びの現在地を明らかにし、自分なりの目標をもつための学びの記録の工夫【手立て1】である。まず単元の導入では、子どもたちの、「自分の好みを伝えたい」、「友だちの好みが知りたい」という思いを醸成し、その思いの達成が本単元の目的地であることを共有する。そして、これまでの学習で見出してきた「相手の目を見て話す」、「はっきりと伝わる声で話す」などの伝え合い方の工夫を視覚的に提示したり、単位時間ごとの自分の目標や目標に対する振り返りを記録に蓄積したりして、子どもたちが自分の学びを自覚できるようにする。そうすることで、子どもたちが、単位時間において、言えるようになりたいことやできるようになりたいコミュニケーションの仕方を目標として明確に位置付けて活動できるようにする。

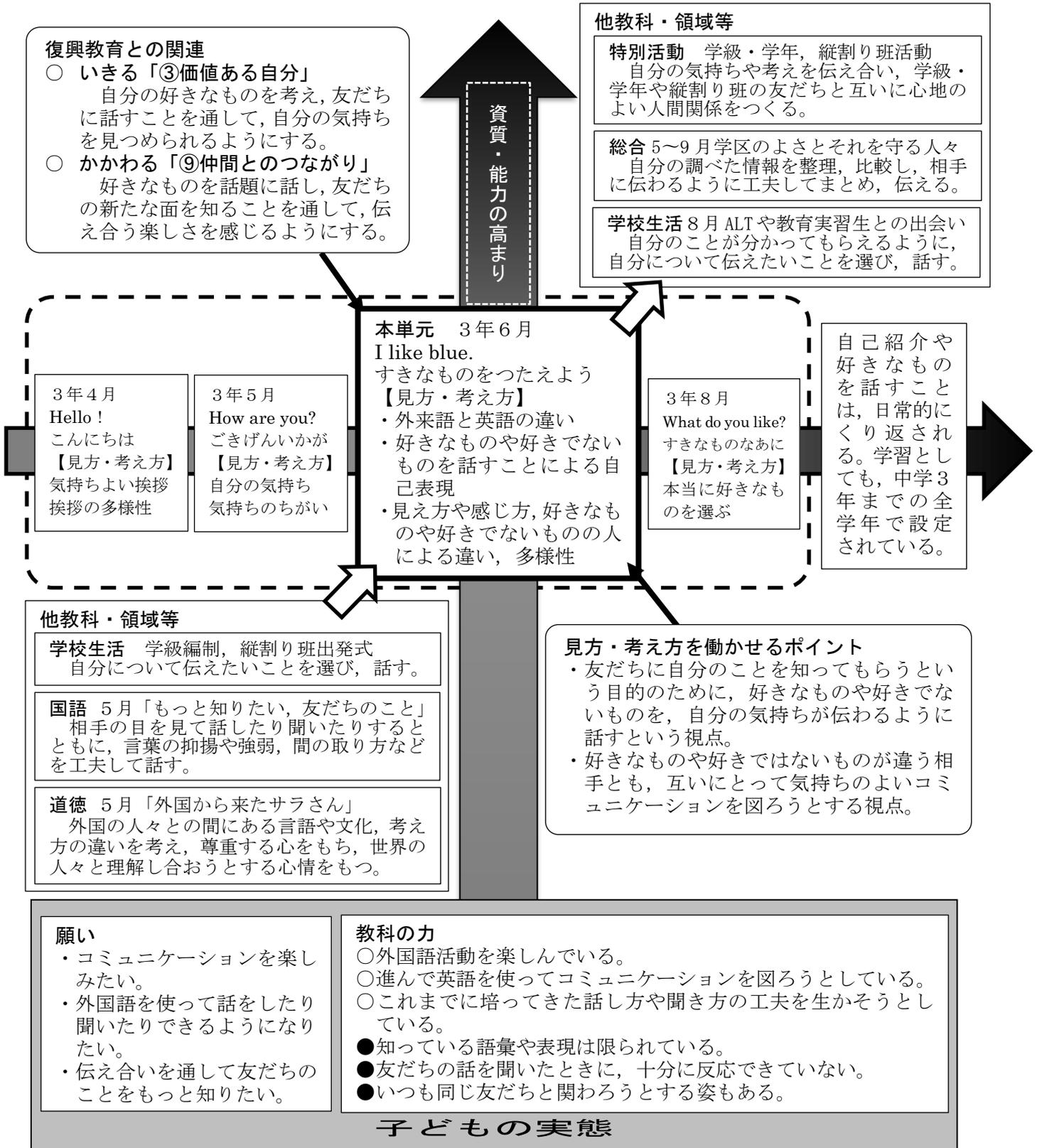
【手立て1「学びの文脈」のデザイン】

2点目は、伝えたい考えや気持ちのシェアをうながす教師の働きかけ【手立て2】である。子どもたちの中には、校外で英語学習をしている子どもや、英語への関心が高く、日常生活や外国語活動でふれた語彙や表現をよく知っている子どももいる。また、そのような友だちと困りや迷いをシェアすることで、「わからないときには、友だちに聞けばいい」ことに気付き始めた子どももいる。友だちや教師と学び合いながら外国語を学習していく自律的な学び方を身に付けられるようにするために、困りや迷いを素直に表出している姿や教え合っている姿をシェアし、解決の方向性を示していく。また、一人で困っている様子があれば、教師が子どもの困りや迷いを代弁し、周りの子どもたちにアドバイスを求めるように働きかけていく。

【手立て2 よりよく学ぶ3つの視点】

2 単元構想図

単元の目標 話すこと [発表]			
色やスポーツ、食べ物などの、自分の好きなものや好きでないものについて話す。			
単元の評価規準			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [発表]	多様な考え方があることや、日本語の外来語と英語との音声やリズムの違いに気づき、I like/don't like～.などの表現を用いて話すことに慣れ親しんでいる。	友だちともっと仲良くなるために、どのように話すか工夫しながら、自分の好きなものなどについて話している。	友だちともっと仲良くなるために、どのように話すか工夫しながら、自分の好きなものなどについて話そうとしている。



3 単元の指導及び評価の計画（全4時間）

時	○学習活動	◆研究の手立て	評 価	
			観点	評価規準〈評価方法〉
1	○指導者の自己紹介を聞いた たり、Who am I?クイズ をしたりして、単元の目 指す姿を共有する。 ○色の英語での言い方に慣 れ親しむ。	手立て1 自分なりの目標 をもつための学びの記録 ◆単元のゴールとなる 言語活動を共有し、本 単元の学習の見通し をもつようにする。		本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて 指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時 間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
2	○スポーツや食べ物の英語 での言い方を聞き、慣れ 親しむ。 ○好きなものや好きでない ものをペアの友だちに話 す。	手立て2 伝えたい考えや 気持ちのシェアをうなが す教師の働きかけ ◆子どもたちの話した い内容を受け止め、実 現するための手立て を講じる。		本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて 指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時 間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
3 本時	○好きなものや好きでない ものを隣の列の友だちに 話す。	手立て1 自分なりの目標 をもつための学びの記録 ◆目標を決められるよ うに、話し方の工夫と 前時の自己の学びを 想起させる。 手立て2 伝えたい考えや 気持ちのシェアをうなが す教師の働きかけ ◆友だちと言い方など を学び合い、確かめて いる姿を取り上げ、広 める。	知 【発】 思 【発】	I like ～. / I don't like ～. の表現で、自分の好きなものや 好きでないものを話している。 〈行動観察〉 友だちともっと仲良くなるた めに、話し方の工夫をしながら、 自分の好きなものや好きで ないものを話している。 〈行動観察〉
4	○好きなものや好きでない ものを学級のたくさんの 友だちに話す。	手立て1 自分なりの目標を もつための学びの記録 ◆単元の学びをふり返 り、身に付けた力を共 有して価値付け、次単 元や日常生活におけ るコミュニケーション 活動につなげてい くようにする。	思 【発】 態 【発】	好きな気持ちや好きでない気 持ちは友だちに伝わるように、 話し方の工夫をしている。 〈行動観察〉 どのように話せば友だちと仲 良くなれるかを考えたり、たく さんの友だちと進んで自分の 好きなものや好きではないも のを話したりしようとしてい る。 〈行動観察・学びの記録〉

Ⅲ 本時の指導

1 目標

好きなものや好きでないものを伝える表現に慣れ親しみ、相手に伝わるように工夫しながら、自分の好みを話す。

2 評価規準

知識・技能【話すこと[発表]】

・I like ～./I don't like ～. の表現で、自分の好きなものや好きでないものを話している。

思考・判断・表現【話すこと[発表]】

・友だちともっと仲良くなるために、話し方の工夫をしながら、自分の好きなものや好きでないものを話している。

〈努力を要する状況の児童への手立て〉

言語活動を始める前や活動中に、教師を相手に話し、活動の見通しをもてるようにする。

3 展開 (3/4時)

段階	学習活動	時間	研究にかかわる手立て ○予想される子どもの反応	◇準備 ◆留意点 評価
導入	1 あいさつ 2 Let' s sing “The rainbow song” 3 本時の活動と自分の目標のたしかめ 活動 ：友だちに好きなものを話そう	2 3 5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 手立て1自分なりの目標をもつための学びの記録【学びの文脈】 ◆目標を決められるように、話し方の工夫と前時の自己の学びとを想起できるようにする。 </div> ○ はっきりした声で言いたいな。 ○ 好きなものを3つ言いたいな。	◇デジタル教科書 ◇掲示 ◇学びの記録シート
展開	4 表現に慣れ親しむ (1) Let' s Chant 好きなものや好きでないものの言い方をくり返す。 (2) Let' s Listen3 会話を聞いて登場人物が好きなものを○で囲む。 5 ぴったんこゲーム 教師が、Do you like ~?と尋ねたら、子どもはYes, I do. I like~. または No, I don' t. I don' t like~. と答える。そして、ペアの友だちと答えが合うかどうかを楽しむ。 6 隣の列の友だちに、自分の好きなものや好きでないものを話す。 活動 → シェア → 活動	5 10 5 10	○ 好きなものや好きでないものの言い方になれてきたな。 ○ わたしも～が好き。他にも、～が好きって言いたいな。 ○ 自分は～が好きかな。 ○ 自分は～が好きだな。好きではないな。 ○ ペアの～さんとは、答えがたくさん合ったな。気が合うなあ。 ○ ペアの～さんとは、答えがほとんどちがったな。好みは人それぞれだな。 ○ 自分の好きなものはしっかり伝わっているかな。 ○ 友だちに聞こえるようにはっきりとした声で話そう。 ○ ○○が好きって言ったら、どう思うかな。	◆どの活動においても、できるだけ、好きかどうかをたくさん尋ね、子どもたちに考えさせるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> I like ~. / I don't like ~. の表現で、自分の好きなものや好きでないものを話している。 〈行動観察〉 友だちともっと仲良くなるために、話し方の工夫をしながら、自分の好きなものや好きでないものを話している。 〈行動観察〉 </div>
終末	7 ふり返り ・ふり返りを記入する。 ・ふり返りを発表する。 8 あいさつ	5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 期待するふり返り例 ・友だちの方を向いて、I like~.と好きなものを話せてうれしいな。 ・はっきり話したら、好きなものが伝わったよ。聞き取ってもらえてうれしいな。 ・友だちと自分は好きなものがちがうんだな。 </div>	◆子どもたちのがんばりや伸びを評価する。

友だちのいいところや友だちに教えてもらったことを生かして、もっと工夫して話そう。

手立て2伝えたい考えや気持ちのシェアをうながす教師の働きかけ
 ◆友だちと言い方などを学び合い、確かめている姿を取り上げ、広める。

